

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等：大学院生物資源学研究科

事業担当者の職・氏名：教授・中島千晴

内線電話番号：9638

電子メール：chiharu@bio.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

海外における専攻実習

-レイトスペシャライゼーションと地域創生のための海外における専攻実習-

3. 事業内容の別（該当するところにチェックを入れてください。）

教職員，学生の海外派遣（学会やシンポジウム等の出席は除く）

海外交流機関等からの教職員，学生の受け入れ

国際教育プログラムの開発や推進

その他

4. 事業の取組結果

以下の事項について記述してください。ページ数は問いません。

(1) 事業概要（簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください）

生物資源総合科学コースの1年次学生を対象にほぼ全員を、フードシステムチュートリアル(単位あり)の一環として学生を約2週間派遣する。派遣前には英語での初歩の専門科目の講義を受講させるとともに、派遣中は、農業実習、水産増養殖実習、生物多様性研究実習、ダイビング教習を実施し、派遣前後には外国人教員による英語教育を実施する。

(2) 事業の背景・これまでの実績

令和6年度に新設されたレイトスペシャライゼーションと地域創生を打ち出した生物資源総合科学コースの1年次学生を対象に、マレーシアトレンガヌ大学へ14名を約3週間、タイ王国タマサート大学へ4名1週間、フィリピン・ヌエバビスカヤ大学へ5名1週間派遣した。これにより、2年次以降のコース選択のための、経験の一助とする。

(3) 事業実施結果

事前に外国人若手教員により英語での専門科目の概論講義を受講し、海外へ渡航して実習を行い、2年次からの専門選択の際の一助とするものである。二期生となる2025年度は、夏季休業中に3週間に渡って1年生14名が、協定校であるマレーシア・マレーシアトレンガヌ大学にてサマースクールに参加した。同スクールにはやはり協定校である台湾海洋大学も参加しており、親交を深めながら、ときに上級生である台湾海洋大学学生に助けられながら、さまざまなプログラムに参加した。プログラムはすべて英語で実施され、ウミガメ保護区での保護活動、観賞魚の評価実習、ナマズの交配実験、エコツーリズム体験、そして大学スタッフに鍛えられながらのスクーバダイビング・オープンウォーター資格への挑戦であった。まさしく笑いあり涙ありの3週間で、資格が取れた者、取れなかった者があったが、全員が明らかに成長した。また、ハルプログラムとして、タイ・タマサート大学には4名を派遣、農業技術学科での実習、熱帯病害調査ワークショップ、国立研究機関における植物工場の見学等を行った。季節外れの雨天が続き実習が十分に実施できなかったが、植物工場では専門家に対し鋭い質問を行っていた。さらにはフィリピン・ヌエバビスカヤ大学には5名を派遣、農業土木関連の施設の視察、農産物加工実習、英語での農産物の施設栽培ワークショップに参加し、積極的にコミュニケーションを図る姿が頼もしいものであった。



マレーシアトレンガヌ大学にて： 共催した国立台湾海洋大学の学生達と離島で海洋実習(左)とスクーバ講習(右)



マレーシアトレンガヌ大学にて： 淡水魚(ナマズ)の交配実験・実習



タイ王国タマサート大への派遣： バンコク地区最大の農産物市場の見学(左)とタイ国立科学技術開発庁の植物工場の視察(右)



フィリピン ニエバビスカヤ大学への派遣：フィリピン最大規模の農業土木関連水利施設(ダム)見学(左)と関連企業での食品加工実習

(4) 事業の意義

このように、専門的な内容を英語で受講し、海外実習を体験することで今後の進路選択のみならず、実践的な生物資源学を学ぶ上で貴重な体験であり、真の学部の国際化に資するものであろう。

(5) 事業の発展性

継続的に実施することで本学の特色のある教育として位置づけられる

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

中期目標：4, (1), 1, 2

中期計画：I, 1, (8)-1

(7) その他

なし

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：日本語版）

レイトスペシャライゼーションと地域創生のための海外における専攻実習

生物資源総合科学コースの1年次学生を選択科目の一環で学生を約1-3週間派遣されます。派遣前には英語での初歩の専門科目の講義を受講し、派遣中は、農業実習、水産増養殖実習、生物多様性研究実習、農産物加工実習、ダイビング教習を経験します。

本年度は、マレーシアトレンガヌ大学へ14名を約3週間、タイ王国タマサート大学へ4名1週間、フィリピン・ヌエバビスカヤ大学へ5名1週間派遣しました。学生はこの経験を2年次以降のコース選択に活かして行きます。

令和7年度三重大学国際交流事業実施報告書（一般公開：英語版）

Introductory-Practical Training in Foreign Countries for Regional Co-creation and Late Specialization

First-grade students in the Integrated Bioresource Science course were sent to sister universities for ca. 1-3 weeks as part of their elective classes. Prior to their training, they took introductory subjects held in English. During their stay, they experience cropping, aquaculture, biodiversity research methodology, Food processing, and SCUBA lessons for the license.

This year, 14 students were sent to the University of Malaysia Terengganu for ca. 3 weeks, 4 students to Thammasat University in Thailand for 1 week, and 5 students to the Nueva Vizcaya State University in the Philippines for 1 week. The students will choose their majors based on their experience in their second year and beyond.